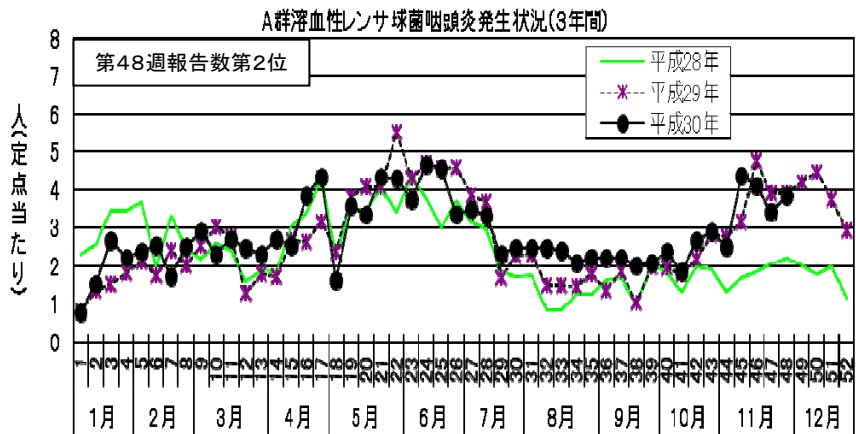
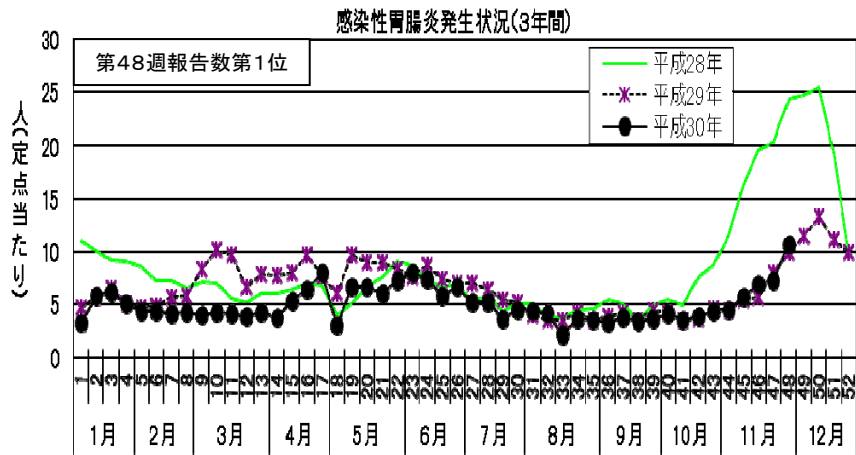


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年1月26日（月）～平成30年1月22日（日）〔平成30年第48週〕の感染症発生状況

第48週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 伝染性紅斑でした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は10.65人と前週（7.22人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.86人と前週（3.41人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。伝染性紅斑の定点当たり患者報告数は1.78人と前週（1.57人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



川崎市風しん対策事業 - 30～50歳代の男性も対象に！ -

川崎市では、風しん対策事業として、妊娠を希望する女性などを対象に無料の抗体検査を実施してきましたが、平成30年1月23日から対象者を拡大し、30～50歳代の男性を追加しました。

妊婦への感染を防ぐため、本事業を利用して抗体検査を受け、抗体価の低い方はワクチン接種を御検討ください。

妊婦と赤ちゃんを風しんから守りましょう！ 平成30年度川崎市風しん対策事業について

【実施期間】平成30年1月23日～平成31年3月31日

【実施場所】市内の協力医療機関

※川崎市ホームページにリストを掲載しております。

1) 風しん抗体検査

【対象者】

本市の事業を利用したことがない川崎市民で、次のいずれかに当てはまる方

- ・妊娠を希望する女性
- ・妊娠を希望する女性のパートナー
- ・妊婦のパートナー
- ・30～50歳の男性

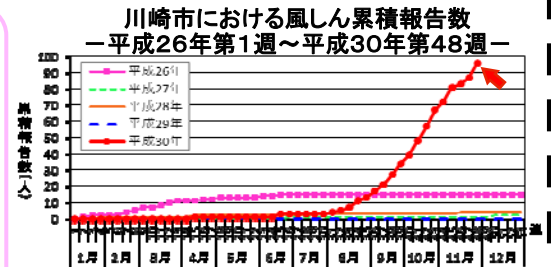
（昭和34年4月2日～平成元年4月1日生の方まで）

【自己負担額】無料

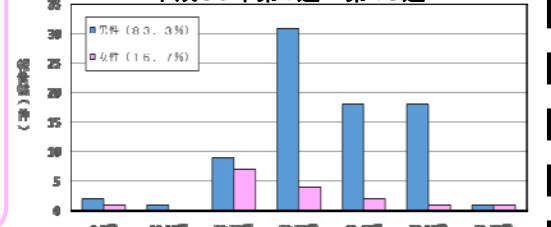
2) 麻しん風しん混合ワクチン接種

【対象者】風しん抗体検査の結果、抗体価が十分でなかった方

【自己負担額】3,200円



川崎市における風しん性別・年齢階級別発生状況 —平成30年第1週～第48週—



妊娠中の女性は予防接種を受けることができません。また、妊娠されていない方でも接種後2か月程度の避妊が必要です。ただし、接種後に妊娠していることがわかった場合でも、胎児に障害が出たという報告はこれまでにありません。万一、ワクチン接種後に妊娠が判明した場合には、産婦人科の先生とよく御相談ください。